

木議第672号
令和元年11月5日

北関東防衛局長 松田尚久様

木更津市議会議長 近藤忍



陸上自衛隊オスプレイの暫定配備要請に関する質問について（照会）

このことについては、令和元年5月24日に原田防衛副大臣からの説明を受け、同年6月10日開催の基地政策特別委員会協議会において、委員等からの質疑に回答いただいたところです。

その後14回の地元説明会や8月3日の住民説明会を経て、なお議会として疑問の残ることについて、再度貴省から回答いただきたく、10月31日開催の基地政策特別委員会において質問事項を取りまとめました。

つきましては別紙のとおり送付いたしますので、ご回答くださいますようよろしくお願ひいたします。

	質問内容	備考
1	防衛省は3月配備を考えているようだが、木更津市・千葉県・木更津市議会等が防衛省からの答弁を踏まえて十分に考慮し、結論に至るまでは準備を含めて配備を強行しないと確約できるか。	
2	もう一度防衛省から木更津市に要請して全市民を対象とした説明会を開く意志があるか。	
3	オスプレイが木更津市に暫定配備された場合、日米の共同訓練の実施が予想され、訓練のために米軍の兵士は何名くらい木更津駐屯地に来る予定か。	
4	オスプレイ購入目的について 島嶼防衛・奪回の軍事目的でオスプレイを購入したとの説明を受けた。①侵攻国軍との交戦は自衛隊だけで行うのか。②米軍の力は借りないのか。③この交戦だけで戦闘を終えることができると思うのか。④島嶼防衛・奪回などの際に、木更津基地はどのように使うのか。	
5	危機管理について ①基地を抱える街として、敵から一番狙われる基地になる懸念がある。情報がなく、行政にも住民にも知らされてないで、何をもって安全と言われるのか。 ②自分の街で起きていることが他人に聞かないとわからないでは、市民の命と安全は守れない。戦争に参加する状況をキャッチし、監視するための直接情報を、市はどのように手に入れることができるのか。	
6	協定について 米海兵隊オスプレイの定期機体整備の際の覚書には、「市は望んだのですが結果として入れず、やむを得なかった」ということだ。陸上自衛隊オスプレイが暫定配備される場合には、防衛省は市や県と協定を結ぶべきだと思うがいかがか。	
7	騒音について 陸上自衛隊オスプレイが配備されることによって、現在の訓練時間と差異があるか。	
8	訓練内容について 共同訓練を行う場合の内容及び木更津駐屯地をどのように使用するのか。	
9	安全対策について 事故が発生した場合、地元消防・病院・行政との連携はどのようにはかるのか。	
10	オスプレイパッド（オスプレイ専用離着陸帯）について 建設するのであれば、建設設計画を明らかにして頂きたい。	

1 1	佐賀空港西側に開設予定の駐屯地整備の見直しについて どうして配備も決まらないうちに、17機も購入してしまったのか。	
1 2	暫定配備の内容について 木更津市議会基地政策特別委員会協議会では民間空港を除外したと説明があった。防衛省が公表している資料(住民説明会でも配布)で、民間空港を除外したことが、項目の中に挙げていなかつたのはなぜか。	
1 3	暫定配備の内容について 佐賀への配備は①陸自オスプレイ17機配備②目達原駐屯地所属ヘリ50機移駐である。③米海兵隊利用は、防衛省は当初、佐賀へ要請していたものの、取り下げた経緯がある。木更津への暫定配備の際、「③米海兵隊利用」はないと断定できるか。 できないのは地位協定によるものか。	
1 4	暫定配備される場合のルール オスプレイ及びCH-47等のタキシング及びホバリング開始は何時から何時までの間か。それは飛行場運用規則に定めているか。	
1 5	暫定配備される場合のルール オスプレイ及びCH-47等の通常の運用において発生する騒音について測定し、公表されるか。	